



国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにしてください』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』(John 17), Act for peace!”

会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

松島 美一

見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

(ヨハネ黙示録3章20節)

今月のひとこと

「ウクライナ・ロシアの子どもたちへ向けた平和の木」

青木 英幸



コロナ禍にあり留学生が日本へ入国出来ない状態が続いておりましたが、人数制限はありますが入国が開始されるようになりました。

横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科でも、留学生が6月末まで随時入国し授業へ参加出来るように準備を進め、ようやく希望の光が見始めました。

そのような状況の中で現在もロシアのウクライナ侵攻が続き、ウクライナの人びとの命が危険にさらされていることに深く心を痛めます。一方で、ロシアにも平和を願う人びとがいることを私たちは忘れていません。

本校の日本語科の学生や卒業生の中には、ウクライナ、ロシ

アそれぞれにつながる人がいます。私たちはロシアにつながる人々が攻撃やヘイトの対象となることにも気を付けていかなくてなりません。

現在、在校生の中にロシア出身の学生が1名おりますが、幸いそのようなことは起こっておりません。学生たちは早く平安が訪れることを願っていています。

横浜中央 YMCA では各フロアに「平和の木」を作成し設置しています。YMCA に来館される方や学生たちに、「平和のハト」にウクライナ・ロシアの子どもたちへ向けたのメッセージを記入してもらい、平和への想いを寄せるようにしています。一人ひとりの平和への想いを「平和の木」いっぱい実らせ、一日も早く平安が訪れることを皆で願っています。

<2022年3月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B	F
12名	メン 7名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 1名 ゲスト 1名 合計 9名	67 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0g 0円

<4月の行事予定>

TOF

日	曜	時間	行事内容	場所
2	土	16:00	中央 Y キックオフミーティング	Zoom
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	ハイブリッド
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

「第一例会報告」

秋元 美晴

日時：3月10日（木）18:30～19:50

開催方法：Zoom 例会

出席者：青木・秋元・伊藤・大高・古賀・佐竹・古田

ゲスト：納谷美帆（卓話者、横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科職員）

ビジター：岡進（横浜とつか）

例会は伊藤ワイズの司会により開始し、古賀会長の挨拶があり、ワイズソングを合唱し、ワイズの信条を唱和した。

次いで押川ワイズが選ばれた今月の聖句「マタイによる福音書 28 章 20 節」が古賀会長により朗読された。

卓話は「横浜 YMCA と横浜ワイズメンズクラブのさらなる連携強化の模索」の第三弾で、今年の11月の横浜 YMCA 学院専門学校長の青木ワイズによる第一弾、今年1月の阿部正伴湘南・沖縄部担当主事による第二弾に次ぐものである。

卓話者は横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科職員である納谷美帆氏で、題目は「YCJ サポーター説明会」（YCJ とは、Yokohama Ymca College Japanese School の略称）であった。

納谷氏の卓話は次のような内容であった。

はじめに、横浜 YMCA は神奈川県下に多くの活動拠点があるが、日本語学科のある拠点は、横浜中央 YMCA、川崎 YMCA、厚木 YMCA の3校であり、そのうち現在 YCJ サポーターは横浜中央 YMCA のみで活躍している。

その横浜中央 YMCA の学生数の内訳（ビザ・国籍）がコロナの影響で留学生ビザが 35%で他ビザは 65%と入学する学生の割合が逆転していることや、本科生と聴講生の入学時期や学習期間についての違い、日本語レベルについて、また卒業後の進路についての説明があった。

次に YCJ サポーターについて説明があった。YCJ サポーター制度は、1988年に日本語学科が開設されて以来続けられているボランティア・チューター制度であり、目的は留学生との小さな国際交流の場として、また、学生にとって生きた日本語に接する機会として設けられた。サポーターは特別な資格や経験は必要なく、日本語だけでなく日本文化や習慣、社会事情などを学生に伝えていただきたいとしているが、同時にサポーター自身の国際理解力が深まることも期待されている。YCJ サポーター活動は、中級 I レベル以上の学生に対して行われるが、①学生のチューター活動（学生との1対1の会話活動で、週1回1時間半程度）、②日本語クラス支援活動（インタビューの相手やビジターとしての授業への参加、発表の見学などのクラス活動の支援）、③学生との交流活動（日本語学科が主催する入学／卒業記念パーティー・ホームビジットなどへの参加）の3つの柱から構成されている。

最後に、サポーター活動を開始するまでの流れ（登録申し込み用紙への記入→5分程度の面接→登録確認メールの送付→登録後活動開始）について説明があり、また、動画によるチューター活動の紹介があったが、コロナ禍の現在はオンラインによる活動をしているとのことであった。

納谷氏の説明の後、以下の質問があり、回答を得た。

Q1.チューターはいつも決まった学生と活動するのか。→A. そうです。

Q2.現在、チューターは不足しているのか。→A. コロナ以前は不足していました。

Q3.現在、チューターは何人いるのか。→A. 50名程度いるが、実際はオンラインの操作が難しいという理由により10名程度。

Q4.チューターと学生との間で日時などの調整は可能か。→A.可能です。

Q5.活動は週1回のペースか。→A.そうです。

Q6.チューターも学生とのイベントなどに参加できるか。→A.可能です。

Q7.チューターの募集はいつか。→A.随時募集。

その後、とつかクラブの岡進ワイズからご自身の経験談が披露された。

卓話の最後に、古賀会長から納谷氏に対して、横浜クラブは留学生を支援することを柱としているので、ワイズメンズクラブを徹底的に利用してほしいという要望が伝えられた。

卓話の後には古賀会長によるビジネス・報告があり、Happy Birthday のお名前が読み上げられ、閉会点鐘で終了した。



『次期クラブ会長・部役員研修会報告』

古賀 健一郎

例年は、次年度クラブ会長並びに部役員の一泊研修会となり、また親睦を深める大切な機会でしたが、去年に引き続き、今年度も、新型コロナウイルス感染予防対策のため、『次期クラブ会長・部役員研修会』は、“Zoom機能を利用したオンライン例会”として開催された。

（2022年3月5日（土）10時～16時 Zoom オンライン会議 93名の参加を得て開催された）

★冒頭にウクライナで戦禍に苦しむ人々を思い、参加者全員による黙祷が捧げられた。

（1）研修1

東日本区の現況を現理事の大久保知宏氏が説明された。その後、次期理事の佐藤重良氏により、2022-2023年度の『理事主題』が示された。

（主題）『未来に向けて今すぐ行動しよう』（スローガン）は『誰かのために奉仕して、自分のための楽しいクラブライフを！』

『今年度はワイズメンズクラブ国際協会創立100周年・東西日本区ワイズメンズクラブ創立25周年の年度である。ワイズメンズクラブ国際協会のモットーは、『強い義務感を持つ義務はすべての権利に伴う』である。このモットーのもと、国・

世代・性別・宗教の違いを乗り越え YMCA および地域社会に奉仕活動をしているが、ワイズメンズクラブの「世の中の認知度が低い」と思う。もっと私どもが積極的に情報を発信して、私たちの奉仕活動を知っていただくようにならなければならない。現状のクラブ奉仕活動をさらに充実させるとともに、現在実施中のスマホでの QR コードの活用・ナイトフォーラム実施等を進化させ、引き続き継続実施していくべきだと思う。』（紙面スペースの制約上、当報告の後半部分は、5月号に掲載予定です）

「近況:ウクライナでの戦争に想う」

佐竹 博



ウクライナの人々、街の様子を報道を見て、心を痛めます。もし私だったらあのカバン一つに何を入れるだろう、どこに避難しようとするだろう、と思います。ガスや電気のない、地下で、どうやって過ごすだろう。考えるほど、ウクライナの人々の心が壊れないように祈るばかりです。また、ロシアの YMCA の仲間はどうしているだろうかと思います。ある日ロシア YMCA の facebook ページは、更新が止まりました。ロシアにも平和を願う人がいるが、その人たちが正しい行動をするがために危険にさらされていないことを願うばかりです。

「何が原因で、あなたがたの間に戦や争いが起こるのですか。あなたがた自身の内部で争い合う欲望が、その原因ではありませんか。あなた方は、欲しても得られず、人を殺します。また、熱望しても手に入れることができず、争ったり戦ったりします。願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです。（ヤコブの手紙 4 : 1-3）」

ロシア兵も葛藤を抱えながら、兵器のボタンを押し、レバーを動かしているのではないかと思います。大義、正義がそれぞれにあり、強制的に与えられて疑問にすら思わない状況かもしれません。ウクライナの人々も国を守るために、何年もかかって得た独立を守るために、戦っているのかも知れません。その結果、ロシア兵にも戦死者が出ています。その原因は、ウクライナの兵士が兵器のボタンを押し、レバーを動かしていることによります。大義、正義がそれぞれにあります。その結果、命が消耗品のように、死者数となって発表されていることに胸が痛みます。

「主は、国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げずもはや戦うことを学ばない。（イザヤ書 2 : 4）」

報道を見る私たちは、善と悪に分けてしまいがちです。弱くされている人々に思い入れ、弱くしている国や、協力している国、軍、などを敵視します。それらを構成しているのは、人です。判官びいきの性根によるのでしょうか。どうも「対〇〇」を設定しやすい危うさを私たちは抱えています。YMCA の募金サイトでは、苦しみの中にあるウクライナの人々の支援を呼びかけることに加え、「ロシアにも平和を希求する人がいることを忘れずに、このことが日本や、私たちの周りで生活する

ロシアの人々に差別的な感情を持ったり行動に移したりすることを望まない」と明言しています。平和を願い求めることはできても、自らの行動で示すこと、心を自律的に保つことはとても難しいと感じます。だからこそ信仰によって救われています。

「憎み、争い、あとを絶ちて 愛と平和は 四方にあふれ、みむねの成るは いずれの日ぞ、来たせたまえ、主よ、み国を。（讚美歌 228 番 由木康 1929 年作詞）」
2022 年度、平和を祈り求めることから始まりました。

「第 1 回 横浜 YMCA ユースリーダー感謝会」

実施報告

青木英幸

2022 年 3 月 25 日(金)10:30~12:00 に横浜中央 YMCA9 階チャペルにて対面とオンラインによるハイブリッド形式で開催され、55 名の方々にご参加いただきました。

開会にあたり、横浜 YMCA ユースリーダーシップ開発事業委員会 伊藤直樹委員長より、「リーダー活動で経験された様々な想いを胸にそれぞれの人生に希望の光を見出されますことをこころより願い、皆さまの働きに感謝いたします。」と開会メッセージをいただきました。また、リーダー OG の竹中優奈さん(常議員)と大島宏美さん(維持会員)のお二人からビデオメッセージも寄せられました。

2021 年度の横浜 YMCA ユースリーダーの事業報告、活動報告、研修報告が行われ、SDGs の活動、オンラインイベントなど、ユース世代が地域活動の課題に向き合い、新たな取り組み、今後も継続、そして発展が期待されるものとなりました。

1 年間の働きに心より「ありがとう」の気持ちを込めてリーダーの皆さまへ感謝状と聖書が贈られました。卒業生代表として萩原淳さん(川崎 YMCA リーダー)より、「100 人の子どもたちと行ったキャンプファイヤーは、良い思い出で、YMCA で培った思いをもって、新たな環境でも頑張っていきます。社会人となっても富士山 YMCA のキャンプなどに参加したいと思います。」と挨拶をいただきました。

最後に横浜 YMCA を代表して佐竹総主事より、「1 年間の働きに心より感謝いたします。学校を卒業する皆様、YMCA での経験が全て活かせることばかりではないですが、新しい場所で自己実現してほしいと願っています。今後は、維持会員としてつながり、ボランティアグループのワイズメンズクラブで人生の先輩の中で自分を磨き、そのことを社会で活かすこともよい機会だと思います。本日は、聖書も贈らせていただきます。多くの方が集まる内に神様がいます。仲間と一緒にいる中で、そこから希望や目標が見いだされていきます。そして、リーダー活動も持続可能な活動になるよう願っております。」と感謝の言葉とメッセージが贈られ会が閉じました。



第二例会報告

古田 和彦

日時：3月24日(木)19:10~20:30

場所：Zoomによる開催

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田

古賀会長が祈禱して開会した。

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

- ・資料により予定を確認した。

2. 協議・報告事項

1) 4月、5月、6月例会について

- ・4月例会 4/14 18:30~20:00 ハイブリッド(中央Y参加とZoom)例会

「横浜 YMCA と横浜クラブのさらなる連携強化の模索 第4弾」

卓話者：ペイ・アンかながわ外国人すまいサポートセンター理事長

・5月例会「横浜 YMCA と横浜クラブのさらなる連携強化の模索 第5弾」

卓話者：未定 本シリーズのまとめとして佐竹総主事等トータルに発表できる人をお願いしたい。

・6月例会 横浜クラブ総会(7月)の準備例会とする。

なお、本年計画していた「横浜クラブ案内リーフレット」について話し合った。その必要性を認めるとともに、年度を超えても検討していくこととした。

2) 大阪長野クラブ(DBCクラブ)チャーター45周年記念例会への対応について

・4/2(土)大阪・河内長野市で開催される記念例会に古田和彦副会長を派遣する。古賀会長から既に「お祝い文」は送付済みであるが、加えて、「お祝い金」(1万円)を持参する。なお、出席のための往復交通費はクラブ負担とすることとした。

・当記念例会には、DBCを検討中の熊本スピリットクラブからも福島貴志、生駒春美のお二人が参加予定。

3) ウクライナ緊急支援募金について

・横浜クラブから2万円を募金する。うち、1万円は古賀会長が横浜クラブへ献金された。

4) ブリテン4月号編集計画は原案通り承認した。



担当主事 青木 英幸

まん延防止等重点措置が解除された翌日の3月22日(火)に横浜 YMCA カレッジグループ4校では、各々の学校にて卒業式を、4月1日(金)には入学式を対面にて実施しました。コロナ禍にあっても、神様に守られすべての学校で対面にて卒業式と入学式を開催できたことを感謝いたします。

4月2日(土)10:00~11:30に横浜中央 YMCA9階チャペルにて、対面とオンラインによるハイブリッド形式で入会始業式が行われました。礼拝は日本基督教団田園都筑教会 相賀昇牧師より、「愛の実りを刈り入れるために」をテーマにお話しいただきました。

29名の新入職者を迎え、佐竹博総主事より新年度の運営に

あたりメッセージをいただき、新たな年度がスタートしました。

また、同日の16:00~17:30には、横浜中央 YMCA キックオフミーティングを横浜中央 YMCA スタッフ・リーダー(健康教育・語学教育・専門学校・アフタースクール)と中区地域子育て支援拠点のんびりんこスタッフ、AIDS 市民活動センタースタッフの総勢47名と横浜ワイズメンズクラブより古賀会長にご参加いただき、オンラインにて実施しました。

大高聡館長から2022年度活動方針を含むメッセージがあり、新入職者5名と異動者4名の自己紹介が行われました。その後、グループ・ディスカッションの時間を取り、Zoomブレイクアウトルーム機能を使用し12グループに分かれ、【全体テーマ】あなた自身が『YMCAで働く(活動する)意味』とは? 【グループテーマ】①「仕事に対する価値や考え方」として大事にしたいものは? ②「3年後にどんな自分を目指したいか」と聞かれたら? ③「今年1年の目標としたい働き方」について考えてみましょう! と分かち合いの時を持ちました。

4月15日(金)18:30~20:00に横浜海岸教会にて、ウクライナ YMCA 緊急支援募金のための演奏会「民族楽器バンドウーラ~平和へのしらべ~」が開催されます。ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者のカテリーナさんによる演奏と歌ごえ、お話しに耳を傾け、不安の中にいる人びとが少しでも安心して過ごせるよう、一人ひとりの命が守られるよう、ともに平和を願いたいと思います。是非、ご参加いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

4月例会プログラム

日時：4月14日(木) 18:30~20:30

場所：ハイブリッド開催

司会：秋元ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条..... 全員
3. 今月の聖句.....松島ワイズ
4. ゲスト・ビジターの紹介.....古賀会長
5. 卓話

「ともに生きる地域をめざして」—すまいサポートセンターの活動と実践から— 裴安(ペイアン)氏
(かながわ外国人すまいサポートセンター理事長)

6. ビジネス・報告.....古賀会長

例会報告：伊藤 誠彦

5月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
28	土	17:00	横浜 YMCA 会員総会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080